

15年の地域活動一冊に

活発な地域活動を目指し、各分野で活躍する人々をつなげる機会創出に取り組んできた「地域力共創推進コンソーシアム」(山形市、黒沼貞志代表)が、発足から15年を迎えた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で人々が集う活動は休止せざるを得ず、節目に活動を振り返り、新たな一歩を踏み出そうとしている。

同団体は2006年に企業など4団体でスタート。活動者が集うワンコインカフェ、ラジオ番組を実施してきた。ラジオは10年、カフェは、新型コロナウイルス感染拡大によって中止を余儀なくされたが、14年で100回続けた。カフェは産学官民のつながりを増やそうと、歴史や教育、工芸、ビジネスなど話題の人や地道に活動している人を話題提供者として迎え、

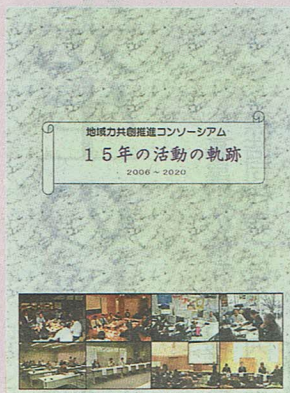
山形・共創コンソーシアム 人と人をつなぐ

集まった参加者とディスカッションするスタイルで行ってきた。

こうした経緯や活動内容を冊子「15年の活動の軌跡」にまとめた。活動の意義などを紹介しているほか、活動実績として開催日時や話題提供者、参加人数などを詳細に記した。A4判で36ページ。インターネット(デジタルブックのアドレスはhttps://sk-solution.s.org/RPCC15th/index_h5.html#1)で公開している。インターネットを通じて世界がより身近になるなど時代は刻々と変化している。黒沼代表は「情報を選び取る力が必要な時代。15年かけて『種まき』し、一定の役割が果たせたと思う」とし、今後の団体の在り方を考えているという。現在は黒沼代表を含め3人で運営する。「事象をどう関心を持って捉えるか、真意を得る大切さはますます大事になっている」とし、新たな展開を模索している。

(江袋和貴子)

地域活動に熱心な人たちをつないできた「地域力共創推進コンソーシアム」の15年を振り返った冊子



山形 広域



本社編集局 023(6)22(5)3085
 天童支社 023(6)53(2)2230
 上山支社 023(6)72(2)5821

地域